

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	七飯町家庭教育支援チーム (呼称:ななえズンバサークル morizum)
②活動拠点	七飯町大中山コモン
③活動範囲	七飯町内全域
④組織体制	30人 児童福祉行政職員、社会福祉士、保健師、児童家庭相談員、保育士、子育て中の保護者等
⑤活動開始年度	令和3年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 大盛 浩二 (TEL)090-9755-4964 (E-mail)bronzetruck589@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(健康づくりと交流の場の提供)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>◆ズンバサークルの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日、活動拠点である七飯町大中山コモンで、健康づくりと心身のリフレッシュを活動の主軸とし、子育て世代の保護者とその子ども及び地域の高齢者を含めた多世代の方々との交流を図る。 ・孤立に悩む保護者や、不登校、ひきこもり等の子どもたちが、地域や社会とつながる糸口として、気軽に参加できる居場所をつくる。 <p>◆子育て相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル内でのリラックスした雰囲気の中で信頼関係を構築し、子育てに悩む保護者の相談に応じるとともに、必要に応じて適切な支援機関へつなぐ。 <p>◆morizum こども応援基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルに参加してくれる子ども達への還元及び子ども食堂等への食材や消耗品等を提供するため、参加費の一部を基金に積み立てる。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>保護者から、「人見知り・場所見知りの娘と親子で参加して経験を積ませたい」との声や、「子どもが家族や先生以外の大人とコミュニケーションを取れて、親子で運動不足を解消できる」との感想が寄せられている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>